

Ocean Currents

 Group exhibition: Ocean Currents

ロベルト・デ・ラ・トーレ／ソン・サンヒ／岩熊力也／山本聖子 [企画]

Roberto de la Torre, SONG Sanghee, IWAKUMA Rikiya, YAMAMOTO Seiko [Curation]

2016年11月19日 [土] - 12月4日 [日] 11:00~19:00 月曜休廊・金曜日は20:00まで

※京都市北区・瑞雲庵 (11月12日[土]~12月11日[日] 土日祝のみ開場)と2会場同時開催

主催:「Ocean Currents」展実行委員会 助成:公益財団法人西枝財団、公益財団法人野村財団 協力:NPO ANEWAL Gallery, Gallery PARC, 公益財団法人 京都市景観・まちづくりセンター



【広報画像01】 PETER ENGLAND Vadhara Art Gallery & Lakeerenm Contemporary Art Gallery, New Delhi, Mumbai, India, 2014. Art Project / Director: D.R. © Roberto de la Torre Photo: Prince Shah

美術家・山本聖子の企画による、「Ocean Currents = 海流」をテーマとした展覧会を、京都市北区の「瑞雲庵」と「Gallery PARC」の2会場で同時開催いたします。本展は、山本が美術家として活動する中で出会った国内外の作家たちが、異なる国々(メキシコ・韓国・日本)から京都に集まり、各々の視点から現在の日本を見つめ、同時代を生きるものとして何を思うのかを探る試みです。彼らが1年間続けてきたオンライン書簡(<http://rrssforkyoto2016.tumblr.com>)は、様々な文脈からの「今の日本」のイメージをうすらと浮かび上がらせ、世界が多層的であることを物語っています。

ロベルト・デ・ラ・トーレはメキシコの実験的パフォーマンスグループ“19concreto”の一員として活動した後、個人でも身体とそれを取り巻く社会との関係性を軸に多様な作品を発表してきました。ポリティカルともとれるテーマを扱い、強い怒りを含みながらも、人々をその先へと解放するような独自のユーモアを含む、鮮やかであっけらかんとした姿勢には、メキシコの歴史や文化の影響がみとれるようです。

韓国に生まれ、現在はオランダを拠点とするソン・サンヒは、自身が韓国人や女性であることを強く意識してきました。しかし「制作は世界を思いやること」だと明言する彼女の視線は、常に内側からだけでなく、度々日本に訪れてプロジェクトを行うなど、外側からの視線を取り込むことも意識されています。これは自らの目で世界に起きている事実をどちらか一方に偏ることなく、深く確かめようとするソン自身の覚悟のようにも思われます。

現在長野県を拠点にする岩熊力也は、長年、絵画を描く傍ら東京で遺跡の発掘にも携わってきました。日々黙々と地を掘る作業は、高層ビルのそびえ立つ都市とは全く別種の時間体験となって彼の創作に影響を与えています。作品にはしばしば日本古来の神話や歴史的事件・出来事といったモチーフが層のように重ねられ「日本人とは何か」という問いに目を向け続ける作家の想いを見てとることができます。

各国を移動し精力的に活動する彼らは、共通して、個人のルーツだけでなく、彼らが背景として抱えている、国や社会、歴史といった大きな流れに対して、自覚的・批評的な視線を向け続けていると言えます。本展は、人々を運んで来た「何か大きな力」について考えさせるとともに、私たち自身が乗っている「海流」とはどのようなものか、そしてその向かう先について、ともに想像する時間を与えてくれることでしょう。

Ocean Currents Group exhibition: Ocean Currents

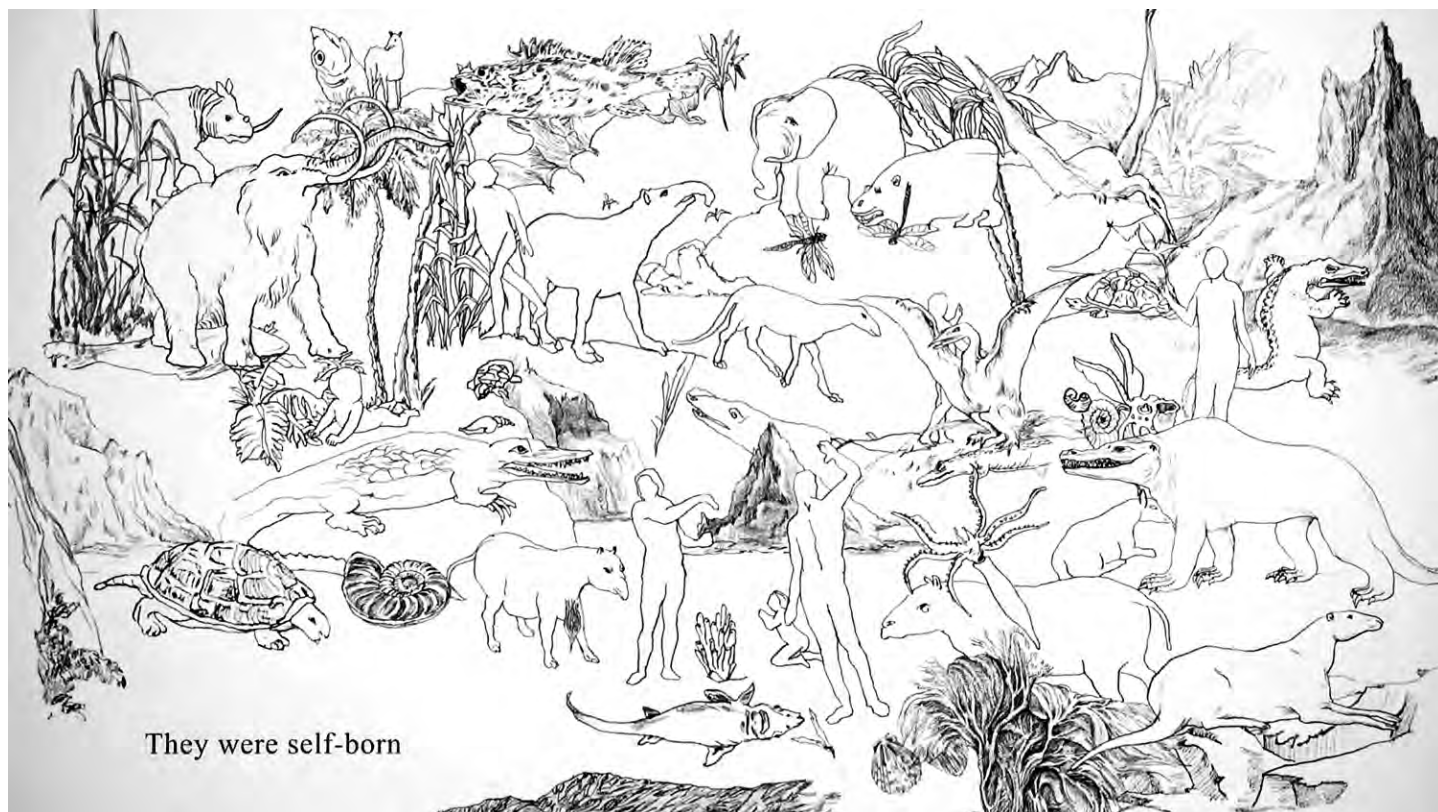
ロベルト・デ・ラ・トーレ／ソン・サンヒ／岩熊力也／山本聖子 [企画]

Roberto de la Torre, SONG Sanghee, IWAKUMA Rikiya, YAMAMOTO Seiko [Curation]

2016年11月19日 [土] — 12月4日 [日] 11:00~19:00 月曜休廊・金曜日は20:00まで

※京都市北区・瑞雲庵 (11月12日 [土]~12月11日 [日] 土日祝のみ開場)と2会場同時開催

主催:「Ocean Currents」展実行委員会 助成:公益財団法人西枝財団、公益財団法人野村財団 協力:NPO ANEWAL Gallery, Gallery PARC, 公益財団法人 京都市景観・まちづくりセンター



【広報画像02】 The sixteenth book of Metamorphoses The love story of Khora, Plesiosaurus & Leviathan Pencil drawing animation_ HD, color / sound, 14 min, 2008

本展の周知・広報にご協力頂ける際に、広報用画像をご用意しております。本リリース掲載画像からご希望の画像番号および掲載媒体情報を明記の上、info@galleryparc.com 迄ご連絡ください。尚、個人の鑑賞および利用を目的とする場合は、画像の貸出しはお断りしておりますのでご了承ください。

展覧会名 Ocean Currents

出展作家 ロベルト・デ・ラ・トーレ、ソン・サンヒ、岩熊力也、山本聖子 [企画]

会期 2016年11月19日 [土] — 12月4日 [日] 11:00~19:00 月曜日休廊・金曜日20:00まで

会場 Gallery PARC [グランマーブル ギャラリー・パルク] 〒604-8082 京都市中京区三条通御幸町弁慶石町48 三条ありもとビル

同時開催 【瑞雲庵】 2016年11月12日 [土] — 12月11日 [日] 12:00~19:00 土曜・日曜・祝日のみ開場

瑞雲庵 [ずいうんあん] 〒603-8074 京都市北区上賀茂南大路町6 2-1

主催

助成 公益財団法人西枝財団、公益財団法人野村財団

協力 NPO ANEWAL Gallery、Gallery PARC、公益財団法人京都市景観・まちづくりセンター

料金 無料

内容 【絵画・映像・アニメーション・インスタレーション】

美術家・山本聖子による「Ocean Currents = 海流」をテーマとした企画展。山本が国内外で出会った作家たちが、異なる国々(メキシコ・韓国・日本)から京都に集まり、各々の文脈から現在の日本を見つめ、同時代を生きるものとして何を思うのかを探る試み。京都市北区の古民家「瑞雲庵」とGallery PARCの2会場で同時開催。

問い合わせ Gallery PARC (正木・武本・村田) 〒604-8082 京都市中京区三条通御幸町弁慶石町48 三条ありもとビル [グランマーブル] 2F
【Tel&Fax】075-231-0706 【Mail】info@galleryparc.com

Ocean Currents

Group exhibition: Ocean Currents

ロベルト・デ・ラ・トーレ／ソン・サンヒ／岩熊力也／山本聖子 [企画]

Roberto de la Torre, SONG Sanghee, IWAKUMA Rikiya, YAMAMOTO Seiko [Curation]

2016年11月19日 [土] - 12月4日 [日] 11:00~19:00 月曜休廊・金曜日は20:00まで

※京都市北区・瑞雲庵 (11月12日 [土]~12月11日 [日] 土日祝のみ開場) と 2会場同時期開催

主催:「Ocean Currents」展実行委員会 助成:公益財団法人西枝財団、公益財団法人野村財団 協力:NPO ANEWAL Gallery, Gallery PARC, 公益財団法人 京都市景観・まちづくりセンター

■ 出展作家



【広報画像03】

CASTING / WHISTLE

Hábitat Sónico, IV Festival de Arte Sonoro. Ex Teresa Arte Actual, DF, México, 2002.
Photo: Roberto de la Torre

Roberto de la Torre / ロベルト・デ・ラ・トーレ

1967年メキシコ生まれ。国立芸術大学ラ・エスメラルダ教授。

1990-1996年実験的グループ“19 Concreto”の創始者。

ドイツ、カナダ、中国、コロンビア、スペイン、アメリカ、インド、イギリス、ポーランド、ポルトガル、ロシアなど多数の国際芸術祭やレジデンスに参加。



【広報画像04】

The sixteenth book of Metamorphoses
The love story of Khora, Plesiosaurus & Leviathan
Pencil drawing animation_ HD, color / sound, 14 min, 2008

Sanghee SONG / ソン・サンヒ

1970年韓国ソウル市生まれ。オランダ在住。2006-2007年ライクスアカデミー在籍。2003年札幌AIR、2010年国際芸術センター青森秋AIR。2016年あいちトリエンナーレに出品。

<http://www.dalgrian.com/>



【広報画像04】

森雨01 終の棲家、呼びかけても届かぬ声
F130 2009

Rikiya IWAKUMA / 岩熊 力也

1969年東京生まれ。2004年ポーラ美術振興財団在外研修生としてメキシコシティ滞在。2011年「ARTIST FILE 2011」国立新美術館、2013年「OHARA CONTEMPORARY」大原美術館(岡山)など多数。

2008年VOCA展・大原美術館賞。

<http://www.iwakumarikiya.com/>

■ キュレーション

Seiko YAMAMOTO / 山本 聖子

1981年京都生まれ。2014年ポーラ美術振興財団在外研修生としてメキシコシティ滞在。2015年オランダドルトレヒトにてレジデンス。2010年国際芸術センター青森秋AIR。2011年Rokkoミーツ・アート公募大賞、Tokyo MidTown Award グランプリ受賞。

<http://www.seikoyamamoto.net/>

OceanCurrents

Group exhibition: Ocean Currents

ロベルト・デ・ラ・トーレ／ソン・サンヒ／岩熊力也／山本聖子 [企画]

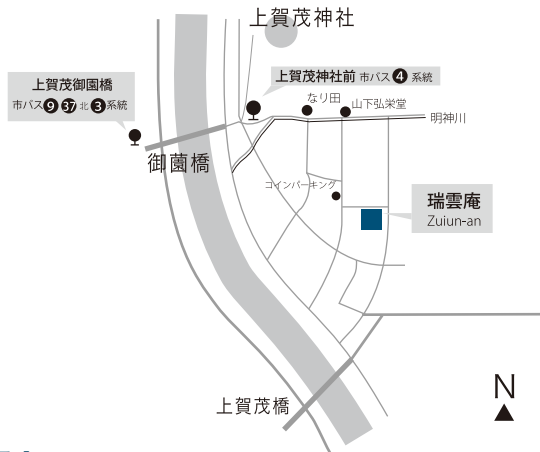
Roberto de la Torre, SONG Sanghee, IWAKUMA Rikiya, YAMAMOTO Seiko [Curation]

2016年11月19日 [土] - 12月4日 [日] 11:00~19:00 月曜休廊・金曜日は20:00まで

※京都市北区・瑞雲庵 (11月12日 [土]~12月11日 [日] 土日祝のみ開場) と2会場同時期開催

主催:「Ocean Currents」展実行委員会 助成:公益財団法人西枝財団、公益財団法人野村財団 協力:NPO ANEWAL Gallery, Gallery PARC, 公益財団法人 京都市景観・まちづくりセンター

■会場・アクセス



瑞雲庵 Zuiun-an

〒603-8074 京都市北区上賀茂南大路町62-1

075-222-8640(企画部) info@n-foundation.or.jp

【京都駅からお越しのお客様】=京都市バス9号系統「上賀茂御園橋」下車 徒歩15分。【四条河原町/出町柳からお越しのお客様】=京都市バス4号系統「上賀茂神社前」下車 徒歩10分。【地下鉄でお越しのお客様】=京都市営地下鉄烏丸線「北大路」駅下車、バスターミナルより京都市バス37号または北3号系統「上賀茂御園橋」下車 徒歩約15分。または、京都市営地下鉄烏丸線「北山」駅下車、タクシーで1メーターまたは徒歩25分。

■関連企画

* 下記の会場はすべて瑞雲庵 (参加無料・事前予約不要)

1. オープニング・トーク&レセプション

11月12日(土) 17:00~18:00

*トーク終了後、18:30頃よりレセプション・パーティを行います。

2. アーティスト・トーク

11月19日(土) 16:00~18:00

出展作家が過去から現在までの作品について話します。

*逐次通訳あり

ゲスト:服部浩之(キュレーター)

3. キュレーター・トーク

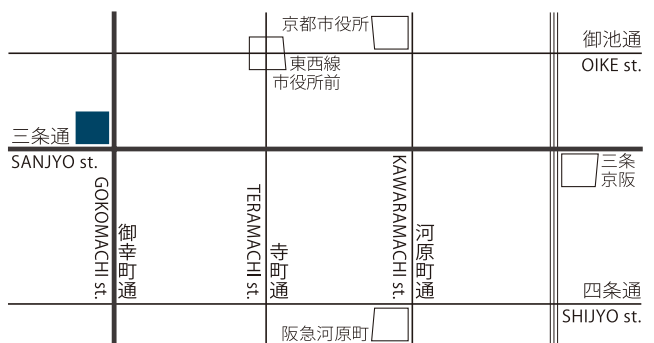
11月23日(水・祝) 15:00~16:00

本展キュレーションの山本聖子によるギャラリートーク。

4. クロージング・イベント

12月11日(日) 17:00~

■会場・アクセス



Gallery PARC

〒604-8082 京都市中京区三条通御幸町弁慶石町48 三条ありもとビル

075-231-0706 info@galleryparc.com

地下鉄東西線「京都市役所前」駅より徒歩5分。京阪「三条」駅・阪急「河原町」駅より徒歩15分。三条通・御幸町通交差点北西角 [グランマール] 店舗内階段より2階へ。

■関連ワークショップ

上京OPENWEEK 2016

岩熊力也ワークショップ in 堀川団地

「こわすこと なおすこと そのさき」

11月20日(日) 14:00~16:00

作品制作の傍ら、長年遺跡の発掘にも携わってきた岩熊力也によるワークショップ。「破壊と創造」をテーマに、堀川団地の現在空き部屋となっている一室から見つかった残留品を用いて行います。本ワークショップは上京オープンウィーク期間中、イベントの一環として開催されます。

【会場】堀川common(〒602-8111 京都市上京区奈良物町481番地)

【アクセス】【電車】=地下鉄東西線「二条城前」駅、烏丸線「丸太町」駅よりいずれも徒歩約15分。【バス】=京都市バス9、50、12、67号系統にて「堀川下立売」または「堀川下長者町」下車すぐ

【申込】①氏名、②ご連絡先お電話番号を明記のうえ、本展実行委員会(oceancurrents@gmail.com)までご連絡ください。

【定員】15名

*汚れてもよい服装でお越しください

*ご自宅不要になった食器や陶器類(ガラス製品は不可)をお持ちの方は、ぜひご持参ください(任意)

共催:上京クリエイティブネットワーク

協力:NPO ANEWAL Gallery、堀川団地提案者会議、京都府住宅供給公社